

平成 17 年 8 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 17 年 6 月 21 日

上場会社名 株式会社 U S E N 上場取引所 大阪証券取引所(ヘラクレス)
 (旧会社名 株式会社有線ブロードネットワークス)
 (コード番号: 4 8 4 2)
 (URL <http://www.usen.com/corporate/>)
 問合せ先 代表者役職 氏名 代表取締役社長 宇野康秀
 責任者役職 氏名 常務取締役管理本部長 佐藤英志 TEL : (03) 3509 7112

1 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2 平成 17 年 8 月期第 3 四半期の業績概況 (平成 16 年 9 月 1 日 ~ 平成 17 年 5 月 31 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況 (百万円未満切捨て表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 8 月期第 3 四半期	112,370	26.5	5,769	99.8	3,420	32.2	19,588	-
16 年 8 月期第 3 四半期	88,809	27.0	2,887	-	2,587	-	1,567	-
(参考)16 年 8 月期	121,913		5,616		4,605		1,718	

	1 株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 8 月期第 3 四半期	286	95	-	-
16 年 8 月期第 3 四半期	254	88	253	96
(参考)16 年 8 月期	278	54	277	70

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。
 2. 当四半期の 1 株当たり四半期 (当期) 純利益は、平成 16 年 9 月 6 日の第三者割当増資による発行株式数 1,086,560 株、平成 17 年 2 月 3 日の公募増資による発行株式数 10,000,000 株及び平成 17 年 2 月 14 日の第三者割当増資による発行株式数 1,899,990 株を含めて計算しております。
 3. 当四半期の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、四半期純損失が計上されているため記載しておりません。

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期連結会計期間 (自平成 16 年 9 月 1 日至平成 17 年 5 月 31 日) における当社グループは、優良なコンテンツをあらゆる顧客に対していつでもどこでも提供する「デジタル・コンテンツ・プラットフォーム」構想の下、急拡大しているブロードバンドユーザーを対象とした新サービス、完全無料パソコンテレビ「GyaO (ギャオ)」を開局し、新たなメディアの確立に注力しております。安定的な収益源である既存事業においては、市場シェアの維持、拡大を図り、光ファイバー・ブロードバンドサービスにおいては、引き続き、集合住宅への早期入線と顧客獲得を促進させております。

このような状況の中、当第 3 四半期連結会計期間の業績は、売上高 112,370 百万円 (前年同期比 26.5% 増)、営業利益は 5,769 百万円 (前年同期比 99.8% 増)、経常利益は 3,420 百万円 (前年同期比 32.2% 増)、また、四半期純損失につきましては、固定資産の減損に係る会計基準の早期適用を実施したことに伴い、当社グループが所有する店舗、賃貸資産、遊休資産等の固定資産について減損処理を行ったこと及び当初想定した収益が見込めなくなったため、連結調整勘定の一部分について減損処理を行ったこと並びに回収可能性の低い

債権についての貸倒引当金繰入又は貸倒処理したこと等に伴い、特別損失 23,790 百万円を計上したことにより、第 3 四半期純損失は 19,588 百万円（前年同期純利益 1,567 百万円）となりました。

各事業別の業績は次のとおりです。

<放送事業>

放送事業の当第 3 四半期連結会計期間の売上高は、46,719 百万円（前年同期比 3.0%減）となりました。有線及び衛星による多チャンネル音楽放送を主とする放送事業は、飲食店などの業務店数が減少していることから、マーケットは縮小傾向にあります。依然として、市場における圧倒的なシェアは継続しております。個人市場においては、通信衛星による音楽放送サービス「SOUND PLANET」がご好評を頂いており、増加傾向を続けております。平成 16 年 11 月には、モバイル放送㈱が開始した移動体向け衛星マルチメディア放送サービス「モバH0!」へ音楽番組コンテンツの供給及び販売代理店としての新規顧客獲得を開始しており、未開拓であった移動体向けの市場へも事業を拡大しております。

<ブロードバンド・通信事業>

当社グループの光ファイバー・ブロードバンドサービスは、サービスエリアを首都圏及び全国の政令指定都市における人口密集地に絞り、集合住宅と中小法人を主なターゲットとしております。集合住宅においては、ADSL よりも安価な価格設定をとったサービス「BROAD-GATE 01」により、新規ユーザーの獲得を増加させると同時に、1,300 万人を超える ADSL ユーザーからの F T T H への回線乗換えの促進に注力しております。法人顧客においては、自社営業のみならず各種の販売パートナーを通じて、顧客開拓を行っております。当第 3 四半期連結会計期間末現在において、当社グループの提供する光ファイバー・ブロードバンドサービスのユーザー数は、契約者数 467,113 件（前年同期比 84.5%増）、取付数 310,373 件（前年同期比 96.5%増）となっており、ブロードバンド市場の普及拡大と当社グループの価格戦略が奏効し、急速に増加しております。

このような状況の中、当第 3 四半期連結会計期間の売上高は、17,011 百万円（前年同期比 96.8%増）となりました。

なお、前連結会計年度においてインターネット事業として区分しておりましたサーバーホスティングサービス、インターネット通信販売システムの販売事業、その他事業に含まれておりましたマイラインサービス等の電話事業及び当中間連結会計年度より連結子会社化しております K L a b (株)の携帯端末向けコンテンツ配信システムの企画・開発等の事業についてはブロードバンド事業との関連性が強くなったため、当中間連結会計期間からブロードバンド・通信事業として区分しております。

<カラオケ事業>

カラオケ事業の当第 3 四半期連結会計期間の売上高は、34,711 百万円（前年同期比 32.7%増）となりました。前中間連結会計期間より、㈱B M B を連結子会社化し、売上、利益の大幅な増加に貢献しております。当第 3 四半期連結会計期間におけるカラオケ市場は、シェアの獲得競争の激化、商品の低廉化等が進むなか、景気後退による飲食店等の業務店の減少等により事業環境は厳しい状況が続いておりました。このような状況のなか、業界最多の 10 万曲を搭載した通信カラオケ「UGA（ウガ）」を中心に積極的な販売、賃貸を実施するとともに、UGA のブランド力強化にも注力し、カラオケルームを中心に着実に浸透してまいりました。今後は、中国市場への進出やカラオケルームの新規出店により、事業拡大を図ってまいります。

<店舗事業>

店舗事業の当第3四半期連結会計期間の売上高は、2,232百万円(前年同期比0.4%増)となりました。当第3四半期連結会計期間末時点における店舗数は、『アフリカ』『コロニアルリビング』等レストラン系店舗が8店舗、フランチャイズ本部加盟店舗が9店舗となっております。店舗事業は、店舗の運営を通じて得られた最終消費者のニーズを活用し、業務店におけるサービスの向上を目的に事業を運営しております。

<映像・コンテンツ事業>

映像・コンテンツ事業の当第3四半期連結会計期間の売上高は、10,654百万円(当中間連結会計期間より新設)となりました。当社グループは、光ファイバー・ブロードバンドサービスの加入者に向けた有料コンテンツ配信サイト「BROAD-GATE01」、他事業者も含むブロードバンドユーザーへ向けた有料コンテンツ配信サイト「ShowTime」、インターネット音楽ダウンロードサイト「OnGen」等、様々なコンテンツサービスを手懸けております。当中間連結会計期間においては、(株)ギャガ・コミュニケーションズを連結子会社化し、映像コンテンツの調達力の強化にも努めてまいりました。また、当第3四半期連結会計期間に、全てのブロードバンドユーザー(DSL、CATV、FTTH())を対象とした新サービス、完全無料パソコンテレビ「GyaO(ギャオ)」を開局いたしました。「GyaO」は、視聴者にとっては、無料でコンテンツ視聴、見たいときに見る事が出来るV.O.D.(ビデオ・オン・デマンド)、広告主にとっては、地域、年齢、性別等の特定したセグメントに対する広告、コンテンツホルダーにとっては、全国の視聴者に対するコンテンツのプロモーションや新たな収益源の確保等、様々な提供価値を持っております。当社グループは、「GyaO」をテレビとインターネットの中間に位置する新たなメディアとして確立し、事業を推進してまいります。

<その他事業>

その他事業の当第3四半期連結会計期間の売上高は、1,041百万円(前年同期比55.1%減)となりました。その他事業は、放送事業の業務店顧客に対し、店舗運営の支援となる商材やサービスの提供を行っております。具体的には、各種音響・映像機器の販売や設置、食材流通サービスの提供、金融商品の提供など、多岐にわたります。

()DSL...(Digital Subscriber Line) デジタル加入者線の略。DSLにはADSL、SDSL、HDSL、VDSLなどがあり、総称してxDSLと呼ばれている。DSL信号は、電話の音声信号の周波数よりはるかに高い周波数を用い、専用のモデム経由で高速なデータ送信を可能にしている。

CATV...(Cable Television) ケーブルテレビのこと。同軸ケーブルによって接続した限定地域に対して、多様なサービスを提供するTV放送システム。TV放送だけでなくインターネット接続サービスも行う事業者が広がりつつある。

FTTH...(Fiber To The Home)

光ファイバーケーブルを家庭まで引き込み、動画映像や超高速データ等の高広帯域情報を送受信できるようにすること。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年8月期第3四半期	263,085	37,530	14.3	499 36
16年8月期第3四半期	232,191	26,808	11.5	4,314 68
(参考)16年8月期	224,743	26,707	11.9	4,295 96

(注) 1 . 当社は平成 16 年 9 月 21 日付で株式 1 株を 10 株に分割しておりますが、16 年 8 月期第 3 四半期及び 16 年 8 月期の 1 株当たり株主資本につきましては、当該株式分割に伴う影響を加味しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 38,342 百万円増加の 263,085 百万円となりました。流動資産は、主として現金及び預金 14,046 百万円減少した一方、受取手形及び売掛金 6,467 百万円増加、たな卸資産 11,329 百万円増加等により前連結会計年度末比 8,278 百万円増加いたしました。また、固定資産は主として連結調整勘定 14,842 百万円増加、投資有価証券 17,957 百万円増加、土地 3,174 百万円減少等により前連結会計年度末比 30,082 百万円増加いたしました。

負債に関しましては、主として短期借入金 が 8,310 百万円増加、長期借入金 が 8,749 百万円増加等により前連結会計年度末より 26,589 百万円増加し、216,212 百万円となりました。

また、株主資本については 10,823 百万円増となっております。主として新株発行による増加 29,765 百万円、配当金の支払による減少 375 百万円及び第 3 四半期純損失が 19,588 百万円となったことによるものです。

3 平成 17 年 8 月期の連結業績予想（平成 16 年 9 月 1 日 ~ 平成 17 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通 期	160,000	10,000	8,000	16,000

(参考) 1 株当たり予想当期純利益（通期） 212 円 89 銭

1 株当たり予想当期純利益につきましては、平成 16 年 9 月 21 日に行った株式分割が期首に行われたと仮定して算出しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成 17 年 4 月 21 日に発表いたしました通期業績予想に変更はありません。

通期業績予想（連結）には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4 四半期 事業部門別販売の状況

	17年8月期第3四半期 (当四半期)		対前年 同期増 減率 (%)	16年8月期第3四半期 (前年同四半期)		参 考 前期(通期)	
	金額(百万円)	構成比(%)		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
放 送 事 業 (1)	46,719	41.6	3.0	48,152	54.2	63,884	52.4
ブロードバンド・通信事業 (1)	17,011	15.1	96.8	8,643	9.7	12,902	10.6
カ ラ オ ケ 事 業	34,711	30.9	32.7	26,149	29.5	37,562	30.8
店 舗 事 業	2,232	2.0	0.4	2,223	2.5	2,951	2.4
インターネット事業 (1)	-	-	-	1,324	1.5	1,709	1.4
映像・コンテンツ事業 (1)	10,654	9.5	-	-	-	-	-
そ の 他 事 業 (1)	1,041	0.9	55.1	2,316	2.6	2,901	2.4
合 計	112,370	100.0	26.5	88,809	100.0	121,913	100.0

1 当連結会計年度よりインターネット事業及びその他事業に含まれておりました電話事業につきましてはブロードバンド事業との関連性が強くなったため「ブロードバンド・通信事業」として区分することといたしました。また、(株)ギャガ・コミュニケーションズを新規連結したことに伴い、放送事業及びブロードバンド事業に含まれていた映像関連事業及びコンテンツ関連事業を新たに「映像・コンテンツ事業」として区分することといたしました。

なお、前年同四半期において新区分を適用した場合の売上高は、放送事業が48,272百万円、ブロードバンド・通信事業が10,546百万円、映像・コンテンツ事業が608百万円、その他事業が1,010百万円となります。

5 役員の異動

半期報告書提出日以降、役員の異動はございません。

以 上

添付資料

- ・ 四半期要約連結貸借対照表
- ・ 四半期要約連結損益計算書

四半期連結財務諸表

四半期要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期連結会計期間末 平成17年5月31日現在		前連結会計年度要約連結貸借対照表 平成16年8月31日現在	
		金 額	構成比 %	金 額	構成比 %
(資産の部)					
流動資産					
1	現金及び預金	33,658		47,704	
2	受取手形及び売掛金	21,659		15,191	
3	たな卸資産	15,617		4,287	
4	繰延税金資産	3,104		2,538	
5	その他	19,126		14,529	
6	貸倒引当金	1,149		515	
	流動資産合計	92,015	35.0	83,736	37.3
固定資産					
1	有形固定資産				
	(1) 建物及び構築物	30,641		31,728	
	(2) 土地	34,409		37,583	
	(3) その他	16,665	81,716	15,161	84,473
			31.1		37.6
2	無形固定資産				
	(1) 連結調整勘定	23,854		9,012	
	(2) その他	8,814	32,669	9,296	18,308
			12.4		8.1
3	投資その他の資産				
	(1) 投資有価証券	28,867		10,910	
	(2) 繰延税金資産	7,039		7,375	
	(3) その他	29,471		25,702	
	(4) 貸倒引当金	8,726	56,652	5,814	38,173
			21.5		17.0
	固定資産合計	171,037	65.0	140,955	62.7
	繰延資産	31	0.0	50	0.0
	資産合計	263,085	100.0	224,743	100.0

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期連結会計期間末 平成17年5月31日現在		前連結会計年度要約連結貸借対照表 平成16年8月31日現在	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)		%		%
流動負債				
1 支払手形及び買掛金	12,160		6,608	
2 設備等支払手形	1,674		1,387	
3 短期借入金	12,455		4,145	
4 1年以内償還予定社債	1,200		1,300	
5 1年以内返済予定長期借入金	23,520		28,617	
6 未払金	13,456		13,866	
7 前受金	11,707		7,423	
8 賞与引当金	2,075		1,071	
9 債務保証損失引当金	37		45	
10 その他	8,378		5,749	
流動負債合計	86,666	32.9	70,215	31.3
固定負債				
1 社債	29,700		27,400	
2 長期借入金	81,562		72,813	
3 退職給付引当金	7,747		6,803	
4 その他	10,535		12,392	
固定負債合計	129,545	49.2	119,408	53.1
負債合計	216,212	82.1	189,623	84.4
(少数株主持分)				
少数株主持分	9,341	3.6	8,412	3.7
(資本の部)				
資本金	35,845	13.6	20,464	9.1
資本剰余金	27,431	10.4	12,058	5.4
利益剰余金	25,736	9.8	5,771	2.6
その他有価証券評価差額金	202	0.1	12	0.0
為替換算調整勘定	48	0.0	50	0.0
自己株式	164	0.0	5	0.0
資本合計	37,530	14.3	26,707	11.9
負債、少数株主持分 及び資本合計	263,085	100.0	224,743	100.0

四半期要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期連結会計期間		前連結会計年度要約連結損益計算書	
		自 平成16年9月1日 至 平成17年5月31日		自 平成15年9月1日 至 平成16年8月31日	
		金 額	構成比	金 額	構成比
			%		%
売上高		112,370	100.0	121,913	100.0
売上原価		58,778	52.3	60,098	49.3
売上総利益		53,592	47.7	61,814	50.7
販売費及び一般管理費		47,823	42.6	56,198	46.1
営業利益		5,769	5.1	5,616	4.6
営業外収益		1,416	1.3	2,967	2.5
営業外費用		3,764	3.4	3,977	3.3
経常利益		3,420	3.0	4,605	3.8
特別利益		2,003	1.8	15,957	13.1
特別損失		23,790	21.1	28,662	23.5
税金等調整前四半期(当期) 純損失		18,366	16.3	8,099	6.6
法人税、住民税及び事業税	238			197	
法人税等調整額	44	194	0.2	679	0.4
少数株主利益(損失)		1,027	0.9	9,336	7.6
四半期(当期)純利益(純損失)		19,588	17.4	1,718	1.4